

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名 北近畿豊岡自動車道 一般国道483号 八鹿日高道路 <small>ようかひだか</small> <small>ひだかちようく</small>	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 近畿地方整備局
起終点 自：兵庫県豊岡市日高町久斗 <small>とよおか</small> <small>ひだかちようく</small> <small>く</small> 至：兵庫県養父市八鹿町高柳 <small>やぶ</small> <small>ようかちようたかやなぎ</small>	延長 9.7km	
事業概要 北近畿豊岡自動車道は、兵庫県の北部地域と阪神地域の連携を強化し、地域の活性化に資する全長約70kmの高規格幹線道路である。 八鹿日高道路は、北近畿豊岡自動車道の一部を構成し、近畿自動車道敦賀線、播但連絡道路等と連携し、地域の活性化、第3次救急医療機関へのアクセス向上、災害時の交通確保、交通混雑の緩和、交通安全の確保を図ることを目的とした道路である。		
H18年度事業化		H17年度都市計画決定
全体事業費 690億円		事業進捗率 約4%
計画交通量 16,500台/日		工事着手 ー 供用済延長 ー
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.4 (残事業) 1.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 531/ 559億円 (事業費: 481/ 509億円) (維持管理費: 50/ 50億円)
		総便益 (残事業)/(事業全体) 794/794億円 (走行時間短縮便益: 653/ 653億円) (走行経費減少便益: 92/ 92億円) (交通事故減少便益: 49/ 49億円)
基準年 平成22年		
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施 交通量変動: B/C=1.6(交通量 +10%) B/C=1.3(交通量 -10%) 事業費変動: B/C=1.4(事業費 +10%) B/C=1.6(事業費 -10%) 事業期間変動: B/C=1.4(事業期間+20%) B/C=1.5(事業期間-20%)		
事業の効果等		
①地域の活性化 ・舞鶴若狭自動車道、播但連絡道路と連携した広域ネットワークを形成することにより、所要時間が短縮し、地域経済の基盤形成、活性化に寄与すると期待される。		
②第3次救急医療機関へのアクセス向上 ・朝来市～公立豊岡病院への所要時間が短縮。(53分→50分)		
③災害時等の交通確保 ・但馬地域を流れる円山川は幾度となく氾濫しており、平成16年10月の台風23号の水害では並行する一般国道312号等幹線道路が寸断し、被災地への支援や救急搬送に支障を来したが、整備により災害時等の交通が確保されると期待できる。		
④交通渋滞の緩和 ・並行する一般国道312号で発生している朝夕や観光シーズンの交通渋滞が緩和されるとともに、自動車・歩行者の安全性が向上すると期待できる。		
⑤主要な観光地へのアクセス向上 ・沿線へのアクセス性向上により、観光客の増加が見込まれる。 (城崎温泉：観光入込客数：795千人/年、コウノトリ郷公園：観光入込客数：417千人/年)		
⑥日常活動圏中心都市である豊岡市へのアクセス向上 ・朝来市～豊岡市の所要時間が短縮。(56分→53分)		
⑦神戸港へのアクセス向上 ・豊岡市～神戸港への所要時間が短縮。(180分→145分)		
関係する地方公共団体等の意見		
地域から頂いた主な意見等： ・北近畿豊岡自動車道建設促進期成同盟会(S62.10、豊岡市他関係4市2町の首長で構成)より早期整備の要望を受けている。 ・北近畿豊岡自動車道(但馬地域)の整備を進める会(H3.5設立、豊岡市他関係2市2町の首長で構成)等より早期整備の要望を受けている。		
兵庫県知事の意見 ： ・国道483号八鹿日高道路は、北近畿豊岡自動車道の重要な部分を占めており、舞鶴若狭自動車道、播但連絡道路及び鳥取豊岡宮津自動車道等と一体となり、環日本海地域と京阪神都市圏の連携・交流を強化する道路である。また、但馬地域唯一の3次救急医療機関である公立豊岡病院へのアクセス性		

向上や、災害時など緊急時における輸送路の確保など、医療や防災面においても重要な役割を担う道路である。

- ・この北近畿豊岡自動車道（約70km）については、平成23年度には、和田山八鹿道路（13.7km）が開通する運びであり、全線の約7割が供用することとなるが、京阪神地域から豊岡中心市街地や但馬海岸等へは、混雑の著しい国道312号を経由せざるを得ず、和田山から豊岡まで、現状では約1時間半を要している実情にある。このような中、本年6月末からは、「舞鶴若狭自動車道の無料化社会実験」がはじまり、高速道路の整備の遅れによる但馬地域への観光客をはじめとする人の交流や物の流通の減少などを懸念する声が高まっており、これまで以上に北近畿豊岡自動車道の早期整備に対する期待が強まっている。従って、本道路と一体的に進めている日高豊岡南道路とともに、事業を継続し、平成28年度迄に供用できるよう、整備推進に取り組んでいただきたい。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「国道483号八鹿日高道路」の再評価は、当委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり「事業継続」でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

但馬地域の移動手段は自動車に依存しており、並行する一般国道312号では依然として交通容量を超過している。

事業の進捗状況、残事業の内容等

平成18年度に事業化し、平成22年度から用地取得に着手している。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

引き続き事業を推進し、早期の供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、パーキング計画の見直しや新技術・新工法の活用等により、コスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

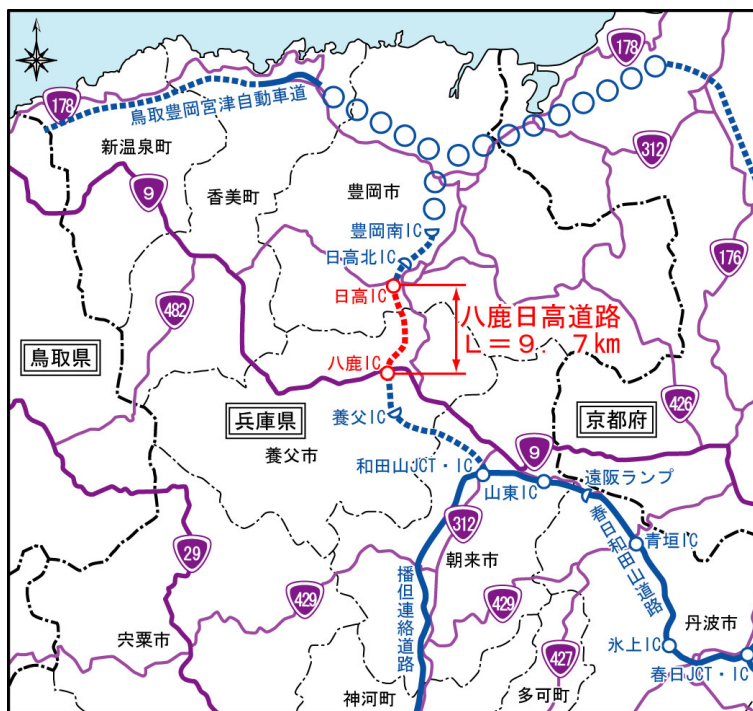
再評価結果(平成23年度事業継続箇所)

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名：北近畿豊岡自動車道 一般国道483号 八鹿日高道路	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 近畿地方整備局
起終点：自：兵庫県豊岡市日高町久斗 至：兵庫県養父市八鹿町高柳	延長	9.7km

事業概要図

【位置図】



【概要図】

